PORT-ECON CHUBU
NEWSLETTER
No. 13
2016.9
日本港湾経済学会中部部会ニュースレター

MENU

1 会長ごあいさつ p1
2 活動のご報告 p2
3 事務局より p5

ごあいさつ

日本港湾経済学会中部部会
会長　林　上

日本港湾経済学会の研究発表会は，毎年，8 月，9 月に集中して行われています。今年は中部部会の発表会が 8 月 17 日に，全国大会が 9 月 7～9 日にそれぞれ開催されました。中部部会の会場は名古屋港の港湾会館，全国大会の会場は北海学園大学（札幌市）でした。中部の大会では港湾とその背後圏の経済活動に関して 3 つの発表があり，熱心な討論が行われました。全国大会では「地域経営と港湾」という共通テーマを中心に，シンポジウムと個別の研究発表が行われました。初日の午後は石狩湾新港で現在，建設中の天然ガスによる火力発電施設を見学しました。札幌市に隣接する石狩，小樽両市の境界付近に位置する新港では，近年，物流・倉庫を中心に企業立地が進んでおり，その状況を現地の担当者から詳しく聞くことができました。「巨費を投じて建設した大きな釣り堀」と揶揄された時代もあったということですが，現在はコンテナ取扱量も増えており，さらに伸ばしていきたいという意欲が熱のこもった説明から伝わってきました。これは港湾整備に限られたことではありませんが，都市や産業のインフラが期待通りの効果を上げるには，長い年月を要します。その間，インフラを取り巻く社会や経済は変動を繰り返しますので，成果が計画水準を満たさない時期もあると思います。要は，外部環境の変化にたえず気を配り，見直しや微調整を行いながら，インフラが本来発揮すべき効果が出るように努力を続けることだろうと思います。石狩湾新港では，東日本大震災以降，急速に高まったバックアップ機能・減災機能の意義や，中国・韓国の経済成長に対する北海道産品の輸出可能性など，新たな状況が生まれています。港湾に隣接する広大な緑地で全国スケールの音楽イベントを定期的に開催するなど，港湾空間を物流以外の目的で活用する動きも定着しつつあるようです。さらに石狩湾新港では，既設の風力発電機（４基）に加えて防波堤の外側にも 20 基を新設して 100MW（メガワット）の電力を得る事業が進められようとしています。実現すれば一般家庭の 7～10 万世帯分に相当する電力が生まれますが，地元で消費する以外に余剰電力で水素を生産し，それを本州方面に送り出すことも想定されています。

（次ページに続きます）

（前ページから続きます）

まさに港湾は，貨物の積み下ろしという本来の機能以外に，エネルギー創出や人間交流など多様な可能性に満ち溢れた空間といえます。これは全国各地の港湾にもあてはまるはずで，各港湾は既成概念にとらわれることなく自らの姿を直視し，どうしたら港湾空間に秘められた可能性を引き出すことができるか考えるべきだと思います。島国・日本の海岸線は約 3 万 km と長く，オーストラリアの 2.6 万 km やアメリカの 2 万 km を上回っています。港湾の数も大小合わせて 1000 を超えます。それだけ港湾間の競争も激しいわけですが，天然資源に恵まれないこの国に与えられた地理的資源を生かさない手はないと思われます。日本港湾経済学会への出席は，毎年のことながら，日本の港湾のあり方についてあらためて考える機会になりました。

２０１６年９月

活 動 の ご 報 告

平成２８年度　中部部会総会及び研究報告会

平成 28 年度 日本港湾経済学会中部部会 総会及び研究報告会を
平成 28 年 8 月 17 日（水）に名古屋港湾会館にて開催いたしました。

開会の辞・挨拶

総会及び研究報告会の開催に先立ち、林会長よりご挨拶を申し上げるとともに、日本港湾経済学会本部より、会長の高崎商科大学　吉岡秀輝様にご臨席賜り、ご挨拶のお言葉をいただきました。

開会の辞【林会長】

挨拶【吉岡会長】

研 究 報 告 会

研究報告会では、朝日幸代氏（三重大学）による司会進行のもと、下記の方よりご報告をいただきました。

① 藤川　清史 氏（名古屋大学大学院）
「産業クラスタと物流について」

② 櫻井　一宏 氏（立正大学）
渋澤　博幸 氏（豊橋技術科学大学）
中山　恵子 氏（中京大学）
「豊川流域における環境経済政策の影響分析」

③ 林　　上 氏（中部大学）
「名古屋港における木材の移入・輸入と木材取扱地区の歴史的推移」

また、それぞれの報告について予定討論者の渡邉隆俊氏、西村一彦氏、林 泰正氏との活発な意見交換が行われました。

研究報告会の様子

司会の 朝日 幸代 氏

藤川 清史 氏

渡邉　隆俊 氏

櫻井 一宏 氏

西村　一彦 氏

林　　上 氏

林　泰正 氏

総　　会

総会では、以下の議事について審議をし、すべて議案どおり承認いたしました。

議事１：平成 27 年度事業報告、決算及び監査報告について
議事２：役員の一部改選について
議事３：平成 28 年度事業計画及び予算について
議事４：会則の一部改正について

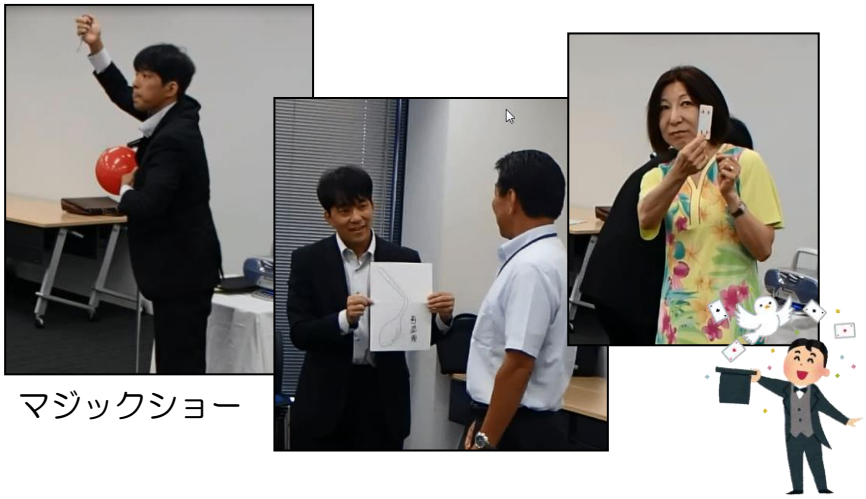
懇　親　会

総会及び研究報告会終了後、名古屋港湾会館にて懇親会を開催いたしました。

林上会長の挨拶に続き、功労会員である眞継隆氏の乾杯の音頭により懇親会が始まりました。今回は特別企画として、中部部会の会員でもあり、本組合職員である、工事課葛山課長補佐より、マジックショーをご披露させていただきました。

懇親会では、２７名の方にご参加いただき、盛況のうちに終えることができました。

眞継　隆 氏による乾杯



マジックショー

山田　光男氏による中締

事務局からのお知らせ

会費納入のお願い

法人会員及び個人会員の方で、まだ、今年度の会費の納入がお済みでない方へは、請求書を送付させて頂いております。

つきましては、会員会費の納入を、お手数ですが以下どちらかの指定口座まで、請求金額をご確認の上、１０月末までにお振込み頂きますようお願い申し上げます。

※法人会員は年額１，０００円、個人会員会費は年額１，０００円 となっておりますが、納付状況により請求金額が異なりますので、必ず、請求書をご確認ください。

【 振 込 先 ① 】

三菱東京UFJ銀行

名古屋港支店（店番号292）

普通預金　口座番号　0633227

日本港湾経済学会　中部部会

【 振 込 先 ② 】

ゆうちょ銀行

記号　12160

番号　44997141

日本港湾経済学会　中部部会

日本港湾経済学会中部部会ニュースレターに関するご意見、ご要望、ご提案、お問合せがございましたら、事務局までご連絡ください。

配信停止を希望される場合は、お手数ですが配信停止の旨を事務局までご連絡ください。

■　日本港湾経済学会中部部会　事務局　■
名古屋港管理組合　企画調整室　企画担当内
担当：栩木、都築
〒455-0033　名古屋市港区港町１番11号
TEL：052-654-7968　FAX：052-654-7997
E-mail：tsuzuki@union.nagoyako.lg.jp

日本港湾経済学会中部部会ホームページ	URL：	http://www.portecon-chubu.com
日本港湾経済学会ホームページ	URL：	http:// port-economics.jp/
名古屋港管理組合ホームページ	URL：	http://www.port-of-nagoya.jp